

法遍寺 から大切な 皆様へ

2019年7月1日

日蓮正宗 年間方針

勇躍前進の年

法遍寺・天晴寺支部活動方針

人材育成

勇猛果敢の折伏

年間実践テーマ

① 勤行・唱題で折伏推進

誓願達成

罪障消滅

② 講中一結で御講参詣

異体同心の团结

折伏成就

③ 登山参詣で育成推進

心身浄化

功德无量

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(TEL:0561-54-9226)

相談無料



2019年6月9日の御報恩御講&創立記念虫払法会の様子

慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について 住職 近藤道正

法遍寺は静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日顕上人が開基となつて、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人の出世の本懐である三大秘法の大御本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

① 講中のみなさまへ

私たちの生きる世間はすべて仏法に包まれています。世間に流されない幸福を築くためには、~~水のごとき信仰者を目指すことが肝要~~です。水は昼夜不退に流れ、少しも止むことはありません。大聖人は火のごとき信心と対比され、そのように妙法を信ずるのを水の行者であると仰せです(御書1856頁)。私たちの信心は、御本仏の当体としての御本尊を信じ拜することです。そして大聖人の御意を少しでも我が凡夫の心身に納め、実践することです。勤行と唱題をせず、御書を拝さずにいると、只々世間に流され、同じ水でも三途(さんず)の川を目指すようになります。三途とは三つのみちのことで、亡者の行く地獄界・餓鬼界・畜生界の三つの大河のことで、御書の一言一句を心肝に染める信心に努めましょう。

② 創価学会に籍を置くみなさまへ

池田大作は昭和28年8月24日、創価学会幹部であった小平芳平によって折伏され、日蓮正宗に入信しました。池田は『人間革命』の中で、戸田会長との最初の出会いのとき、あたかも自分が「地涌の菩薩」であるかのような即興詩を詠み、その後入信を決意したと記していますが、それは洗脳を目的とする美化した作り話以外の何物でもありません。実際は池田自身が次のように語っています。「南無妙法蓮華経は嫌いだったので、ずいぶん反対したのですが、理論で破れて信仰しなければいけないということになってしまったのです。(中略)家に帰っても三日間おがまずにほっておきました。」(新心理学講座四宗教と信仰の心理学57頁)創価学会の「邪」の中には大聖人の仏法はありません。

③ 正しい宗教に関心のある皆様へ

水子について考えてみます。仏法が説く『十界』の生命観よりみれば、たとえ小さな胎児の生命にも必ず「仏性」が具わっています。もし不幸にして水子があった場合には、正しい因果律をふまえた真実の仏法による追善供養と、本人自身の罪障消滅の祈念こそがもっとも必要です。仏教では人間の生命が胎内で生育する次第を、五位に分けて説いています。① 父母の赤白二たいの和合。② 二七日を経て瘡胞(そうほう)の形成。③ 三七日を経て血肉の形成。④ 四七日を経て堅肉の形成。⑤ 五七日を経て六根の形成。そして出生を待つとされています。これは即ち生命ある「人」として生きていることを示すものです。仏法を基調とした生命観の確立のため、また本当の道徳を知るため、法遍寺をお訪ね下さい。